



竹灯籠の夕べ

今年で6回目を数える「竹灯籠の夕べ」が、5月21日、巖島湿生公園で開催されました。園内には、富士山や花をイメージして作られたオブジェなど約3,000本もの竹灯籠が並び、揺れるロウソクの炎が照らす幻想的な空間に、訪れた皆さんも酔いしれた様子でした。





—特集—

食を考えよう

健康な体で毎日元気に生きていくために最も大切なことは食すること。そのためには、何をどう食べたらいいいのか、食に関する正しい知識と判断する能力を身につけることが大切です。

国では、毎年6月を「食育月間」と定め「食育」を推進しています。この機会に皆さんも、生涯にわたり健康な心身と人間性を育むため、あらためて「食」について考えてみましょう。

「食育」って何？

「食育」という言葉は、「体育」「知育」「才育」「徳育」と並ぶ「五育」の一つとして明治時代から使われていました。近年、食をめぐるさまざまな問題が発生する中で「食育」があらためて注目されています。

平成17年に施行された「食育基本法」の中で、『①生きる上での基本であり、知育、徳育および体育の基礎となるべきもの②「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること』と位置づけられています。

私たち一人ひとりが自分の力で正しい「食」を選び、好ましい食習慣と豊かな心を身につける教育や取り組みのことを言います。

なぜ「食育」が

必要なの？

食生活を取り巻く社会環境の変化に伴い、「食」をめぐる問題として次のようなことが指摘されています。

① 食の変化

近年、外食や調理済み食品などを利用する食の外部位化が進んでいます。これは、働く女性や単身世帯の増加などによるもので、加えてライフスタイルの多様化により、家族で楽しく食卓を囲む機会が少なくなりつつあります。

② 栄養の偏り

脂質の過剰摂取や野菜の摂取不足などにより栄養の偏りが見られます。

③ 不規則な食事

朝食を食べないなどの不規則な食生活が増加してきています。

朝食を食べない生活が習慣化すると、成長のために必要な栄養が不足したり、体がエネルギーを節約しようとして肥満の原因になったりします。

④ 肥満や生活習慣病の増加

肥満と生活習慣病の増加が見られます。男性では、肥満であるのに体重コントロールを心がけていない人が多いのに対して、女性の場合は、若い世代を中心にやせている人の割合が増加傾向にあり、過度のダイエットの問題も指摘されるようになってきています。

⑤ 食の海外への依存

日本の食料自給率は、世界の先進国の中で最低水準にあつて、食を大きく海外に依存しています。

⑥ 伝統ある食文化の喪失

生活水準の向上により、多様な食生活を楽しむことが可能になってきました。その一方で、地域で育まれてきた食文化が失われつつあると指摘されています。

⑦ 食を大切にしている心の欠如

家庭における食べ残し、食品業界においては消費期限切れなどによって食品を大量に廃棄しています。自然の恩恵や、食材を作る生産者への感謝の気持ちが薄れてきています。

⑧ 食の安全上の問題

国内外の残留農薬、BSE（牛海綿状脳症）、食品表示偽装などの発生によって食品の安全性に対する国民の関心が高まってきています。

これらの食をめぐる問題に対する抜本的な解決のためには、行政、学校、地域、家庭などが一体となって「食育」に取り組む必要があります。

「食育」は誰のため

食育の最大の目的は、健全な食生活を実践できる人たちを一人でも多く育てることです。食育は、生涯を通じて取り組みであり、子どもと大人が一緒に実践することが大切です。そのためには、まず大人が食についてきちんと考え、生活習慣病やメタボリックシンドロームを予防するなど、食生活を見直すことが必要です。自分の普段の生活から子どもたちに何を伝えるのかを考えましょう。

早寝 早起き 朝ご飯

朝・昼・夕、1日3度の食事を規則的なリズムでしっかり食べることは、健康な体と健やかなこころを育む基本になります。

とくに朝食は、目覚めたての体を動かすためのエネルギー源。早起きして朝日を浴び、朝ご飯をしっかり食べる習慣をつけましょう。



地域と

食育

「いくみ会さん」として親しまれる中井町食生活改善推進協議会は、食に関する知識や食生活改善の必要性を地域の人たちに広めるための活動をしています。そんな地域住民の食生活改善に力を注ぐ食生活改善推進協議会会長の大原すずかさんに地域と食育についてお話を伺いました。

― 会としての取り組みは

「町内各地区で開催している料理講習会や親子料理教室のほか、美・緑なかいフェスティバルへの出店や健康マラソン大会への協力など、さまざまな活動を行っています。そして、活動を通じて自分たちが持っている食に関する知識を少しずつ地域に広めていくことが、役割だと思っています。」

― 地域での食育で大切なことは

「地域の料理講習会のほかにも、園児や児童を対象とした料理教室を開き、正しい食の知識や食生活のアドバイスなどをしています。また、地元でとれる食材を積極的に使うことで『地産地消』の考え方も示せたらと思っています。」

― 家庭で心掛けてほしいことは

「近年、ライフスタイルの変化などにより、家族でも別々の時間に食事をすることが多いといわれます。家族と一緒に食事をする機会が減っているんです。子どもが一人きりで食事するのが当たり前にならないよう配慮してあげたいですね。」

そういったほんの少しの工夫や配慮も、『食育』の一つといえるのではないのでしょうか。」

― 今後の目標は

「食生活改善の活動を続けながら、私たち自身も楽しく学んでいきます。『健康は、まず自分から、次に家族次にお隣さん、そして地域へ』少しずつ、そういった輪を広げていきたいですね。元気に年を重ねる人が増えていきますように。それが私たち食生活改善推進協議会の願いです。」

中井町食生活改善推進協議会

大原すずか 会長



会員同士、和やかな雰囲気の中でのおやつ作り



3歳児健診に訪れた親子に振る舞われた手作りおやつ

自分たちでカロリー計算をして、中学生に必要な栄養量を満たす一日の献立を考えるという「食生活」をテーマにした授業風景（中井中学校）



学校と

食育

町の学校給食センターに配置される学校栄養技師は、町内の小中学校での食育推進の中心として、子どもたちが毎日食べる給食の献立や食材の仕入れ、調理員の指導などを行っています。

今回、学校給食センター栄養技師の柳川香代子さんに学校給食と食育についてお話を伺いました。

— 学校給食としての取り組みは

「給食には、安心・安全な地元食材を使い、できるだけ季節のものを取り入れるよう心掛けています。子どもたちには、地元の食材を紹介することで、生産と食べることがつながっているという事を理解してほしいです。また、毎月19日を『食育の日』と定め、伝統食材を使った郷土料理や世界の料理など、バラエティに富んだ献立に取り組んでいます。」

— 家庭で心掛けてほしいことは

「好き嫌いをしないで、いろいろなものを食べてほしいですね。また、毎食はできなくても、一日一回は家族そろって食卓を囲み、家族のコミュニケーションを図るなど、嫌いなものでも食べやすくする環境づくりが大切です。」

— 今後の目標は

「食育の難しいところは、食の大切さが実感しにくいところにあります。今後機会があれば、学校などに出向き、子どもたちに食の大切さを伝えていきたいと思っています。」

学校給食センター栄養技師
柳川香代子 栄養士



東日本大震災

避難所支援活動の記録

～町職員が震災後45日経過した宮城県石巻市へ～

3月11日に東北地方太平洋沖を襲った大地震は、東日本を広範囲にかつ甚大な被害を及ぼしました。神奈川県および県内市町村は、大きな被害を受けた宮城県石巻市の避難所運営を支援するため合同チームを結成し、4月4日から支援活動を開始しました。その第4陣として本町からも2名の職員が派遣され、4月25日から5月2日まで石巻市立蛇田中学校避難所の支援活動を行いました。その8日間の支援活動で感じたことや、避難所生活の状況を報告します。



女川町の被災状況

避難所生活はどのような状況か

支援活動を行った蛇田中学校は、海から4kmほど内陸に入ったところに位置しており、直接、津波の影響は受けていません。しかし、この避難所にも震災直後は、千人を超える避難者が所狭しと避難していました。私たちが到着したときは、203名の方が体育館で避難生活を送っており、学校の授業も再開していません。また、電気、水道、トイレはすでに復旧していたことから、最低限の生活をする上での支障はなくなってきました。滞在中には給湯器も設置されました。ただし、入浴は週1回、自衛隊が入浴施設まで送迎してくれる方法しかなかったので大変不便でした。



避難所(体育館)の様子

蛇田地区は津波の影響が無かった

ことから、避難所に集まっている方は、他のさまざまな地区からの避難者がほとんどで、自治会や組という組織とは関係のない40人前後で構成された班を中心に生活をしていました。そして、班の中から班長を選出し、班長の中からこの避難所のリーダーを選出していました。震災後、ある程度の期間が経っていることもあってか、班を中心とした避難所運営体制がほぼ確立しており、掃除やゴミ捨て、配給の支度等、日ごとに各班の仕事割り当て、各班が自主的に行動していました。よって、施設内は清潔に保たれ、避難者の生活リズムも整えられていました。私たち支援職員は、そのサポートをする形で運営に携わりました。

また、避難所で起こる問題には、毎日開催するスタッフミーティング(リーダー・学校・ボランティア・石巻市・支援職員)と班長会議で話し合い解決されることから、ここでの連絡調整がとても重要となりました。

避難者の生活支援は

一日分の食事としては、弁当1個、パン2個、おにぎり1個を基本に、ソーセージや野菜ジュース、カップラーメン等が1個程度配られることもあり、各自がそれを3食に配分し

てとっていました。

また、建物が直接災害にあったような他の避難所では、自衛隊が常駐しており、自衛隊の炊き出しにより食事をとるところもありました。

水分(ペットボトルの水やお茶・スポーツ飲料など)は、比較的充分に配給され在庫が管理されていたので、なくなり次第手に入れることができました。



配給を受ける避難者

衣類や洗面用具などの日常生活用品は、物品ごとに整理されており、避難者からの要求に対してすぐに渡せる形ができていました。在庫が無くなった場合や配給されていないものに対しては、市や自衛隊に物資配給を依頼しました。

また、避難者へは物品要求書の紙を配布し、至急の場合以外は要求書に書いてもらうことで、物資配給の効率化を図りました。日を追うごとに避難者の方もさまざまなものを探めるようになり、極力限りある支援物資の中から対応するので、満足できるものを提供できないこともありました。

―避難者のこころのケアは

避難生活が長期間になると心身ともに疲れが溜まり、心のケアも大切になってきます。滞在中、保健師の訪問や警察官、弁護士会等による各種相談会等が開催されました。避難者の孤立感やストレスを和らげる対策の重要性を強く感じました。

また、避難所を運営していく上では、ボランティアの存在も欠かせません。私たちのような短期派遣者は、がれきの撤去や支援物資のお手伝いはできませんが、避難者に踏み込んだ長期的対応は難しくなります。この避難所には、常駐するボランティア1名のほか地元の高校生・中学生3名が運営に積極的に協力しており、避難者一人ひとりの顔がわかるほどの対応ができていました。

そして、この避難所には隣同士を区切るパーテーションが無く、荷物などで間を仕切っていました。高い壁ができるのと隣の行動が見えづらく

なり、高齢者など何かあったときが心配であるとの理由でした。

避難者の多くは帰る家が無く、それぞれに事情を抱えています。そのような中で被災した人と人との助け合い、被災した人々によるコミュニティの形成がとても大切であるように感じました。また、そのコミュニティと地方自治体の連携がどのようになっているかで、被災者の心が大きく変わってくるのですが、この8日間の支援活動を通じてわかりました。最後に、被災者の皆さんが一日も早くこの震災の不安から解放され、安心して生活できるような環境が実現されることを望みます。

津波と火災の被害を受けた門脇小学校



～あなたの声を町政に！ 「地区懇談会」を開催します～

町では、町民の皆さんの声を広く聴き、町政運営に役立てるため、今年度も町内7か所で「地区懇談会」を開催します。町民と町が相互に連携し、ともに考え、ともに作りあげる協働のまちづくり実現のために、皆さんお誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

◆テーマ 『定住、交流、協働のまちづくりをめざして』

◆開催日時および場所

期 日	時 間	対 象 地 区 (自治会)	開 催 場 所
6月13日(月)	19:00～	中村上地区 (比奈窪、松本下、松本上、岩倉、雑色、鴨沢、古怒田)	農村環境改善センター
6月14日(火)	19:00～	中村南地区 (半分形、大久保)	大久保自治会館
6月16日(木)	19:00～	中村下地区 (遠藤、五所ノ宮、北田、久所、藤沢)	中村下児童館
6月17日(金)	19:00～	境地区 (境原、本境、境別所)	境コミュニティセンター
6月20日(月)	19:00～	井ノ口上地区 (宮原、砂口、遠藤原)	宮原自治会館
6月23日(木)	19:00～	井ノ口下地区 (下井ノ口、北窪、五分一)	井ノ口下児童館
6月24日(金)	19:00～	井ノ口中地区 (宮向、宮前、宮上、葛川)	井ノ口公民館

問合せ 企画課 政策班 ☎(81)1112

～中井町の豊かな自然を後世に引き継ぐために～

生態系（生物多様性）調査を実施します！

中井町は、今もなお里山の風景を色濃く残し、飲料水の全てを地下水に依存しているなど、豊富な水と緑に恵まれ、貴重な動植物も数多く生息しています。

私たちは、これらの貴重な地域資源を後世に引き継いでいかなければなりません。

そのためには、町内のどこにどのような動植物が生息しているかを正確に把握し、今後のまちづくりの基礎データとして活用していく必要があります。

については、調査に際して町発行の身分証明書を携帯した調査員が、町内の山林・河川・田畑・宅地などへ立ち入りをさせていただきますので、調査へのご理解ご協力をお願いします。



調査期間 平成23年6月から平成24年3月まで（平成23年度調査）

調査員は、町が発行した身分証明書を必ず携帯しています。

【調査内容】

- 町内の鳥類、はちゅう類、植物、昆虫について調査を行います。

☎ 環境経済課環境班 ☎(81)1115

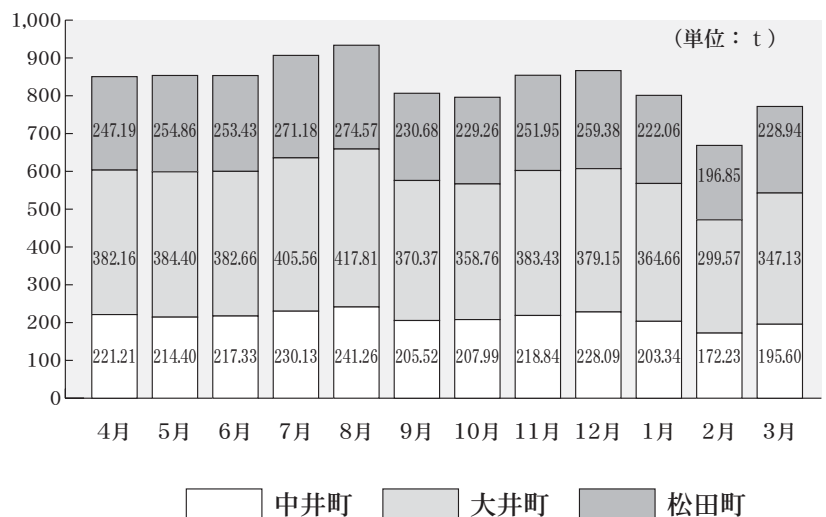
ごみ減量のお願い

右のグラフは、一年間の可燃ごみの収集量を示したものです。例年7月・8月の夏季期間はごみの収集量が増加しています。夏季は冷房等の使用により電力使用量が多くなることから、万が一計画停電が実施された場合、停電中とその前後30分は、ごみの焼却ができなくなります。

これから、夏に向けて、これまで以上にごみの減量にご協力をお願いします。

☎ 環境経済課環境班 ☎(81)1115

可燃ごみ収集量【足柄東部清掃組合】



中井町議会 議員選挙

新たな町議が決定！

任期満了に伴う中井町議会議員選挙が、4月19日に告示され5日間の選挙戦を経て、4月24日（日）に投票、即日開票されました。投開票結果は次のとおりです。

投票結果

- 当日有権者数：8,051人
- 投票者数：5,351人
- 投票率：66.46%

開票結果

- 投票総数：5,351票
- 有効投票数：5,286票
- 無効投票数：65票

候補者別開票結果

立候補者16名のうち、当選者は次のとおりです。（敬称略）

氏名	得票数	当選回数
武井一夫	593票	3回
二宮章悟	576票	初当選
曾我功	517票	初当選
相原啓一	452票	4回
金子正直	376票	初当選
戸村裕司	365票	初当選
小沢長男	293票	9回

氏名	得票数	当選回数
成川保美	290票	4回
植木清八	287票	4回
岸光男	256票	2回
杉山祐一	250票	3回
森丈嘉	246票	2回
小清水招男	246票	3回
原憲三	221票	2回

農業委員会委員選挙

7月19日任期満了に伴う中井町農業委員会委員選挙が、次のとおり行われます。

- 選挙期日／7月10日（日）
- 選挙すべき委員の定数／10人
- 選挙期日の告示日／7月5日（火）
- 立候補の届出期限／7月5日（火）
8:30～17:00
- 投票日／7月10日（日） 7:00～20:00
- 投票場所／町内4カ所の投票所
(投票所は入場券に記載します。)
- 開票日(即日)／7月10日（日） 21:00～
- 開票場所／農村環境改善センター多目的ホール

☎ 中井町選挙管理委員会 ☎(81)1111

事前説明会の開催について

町農業委員会委員選挙に立候補しようとする人、または、その推薦人になろうとする人の事前説明会を次のとおり開催します。なお、出席者は会場の都合上、1立候補予定者につき3人以内とします。

- 日時／6月16日（木） 13:30～
- 場所／中井町役場3階大会議室

投票できる人

次の要件をすべて備えている人が農業委員会委員選挙に投票できます。ただし、一定の欠格事項に該当する人を除きます。

- ① 中井町に住所のある人
- ② 平成23年3月31日現在で満20歳以上の人
- ③ 10アール以上の農地につき耕作の業務を営む人または、その人の同居の親族もしくは配偶者でおおむね年間60日以上耕作に従事している人
- ④ 平成23年1月1日現在で調製した町農業委員会委員選挙人名簿に登載されている人

HP=ホームページアドレス ✉=メールアドレス

ふれあいと交流の里づくり事業 健康づくりウォーク

～初夏の厳島湿生公園を歩く～
健康づくりウォーキング講座を受講した皆さんが企画したウォーキングの催しです。
一緒に楽しく歩きましょう。

時 6月27日(月) 13:00～15:00
※雨天中止

場 井ノ口公民館玄関付近 (集合)
内容 厳島湿生公園周辺のウォーキング

対象 町内在住の方 **費用** 無料
持ち物 飲み物 (水、お茶など)、タオル

その他 歩きやすい服装・靴でお越しください。

※次回は10月に開催する予定です。

用 不要

問 子育て健康課健康づくり班
☎ (81) 5546

中井町青少年育成のつどい

地域ぐるみで心豊かな青少年の育成をめざしましょう。

時 7月2日(土) 14:00～15:45

場 農村環境改善センター多目的ホール
演題 / ～思春期までに地域の大切さを～「豊かに育つために」

講師 / 佐々木光郎氏
(静岡英和学院大学教授)

講師プロフィール / 昭和21年生まれ。大学卒業後、家庭裁判所調査官として30余年にわたり家庭問題や非行問題に取り組み、現在は静岡英和学院大学で講師を務められるとともに、講演活動や執筆活動等でご活躍されています。

定員 / 200名

費用 / 無料

用 不要

※託児を希望される方は6月27日

(月)までに電話で下記へ。

問 生涯学習課生涯学習班
☎ (81) 3907

親子下水道教室

下水道についての理解と関心を深めていただくため、小学4年生とその保護者を対象に実施します。

時 7月9日(土) 9:30～11:30

※小雨決行

場 神奈川県下水道公社酒匂管理センター (小田原市西酒匂1-1-54)

定員 / 25組50名程度 (先着順)

用 6月30日(木)までに下記へ。
(平日8:30～17:15)

その他 / 必ず保護者同伴で、お子さんは上履きをお持ちください。

問 神奈川県下水道公社企画課
☎ 0463 (55) 7438

俳句・短歌 募集

作品 (漢字にはフリガナ)・住所・氏名・電話番号を明記し、毎月月末までに郵送または持参してください。なお、応募多数の場合、掲載できないことがあります。

用 〒259-0197

中井町比奈窪56

中井町役場 企画課 情報班

俳句・短歌

俳句

地に歴史天に創造ひこぼえる
長谷川昭二

廃屋は残照に映え春深し
会田紫陽

樟若葉ひそかに揺れて神の杜
大野英峰

新緑の茂みに喜々と鳥集う
中村初江

囀りは輪唱となり風に乗り
池田ミツ子

畑隅の囲い大根の茎立てる
加藤涼風

あの山に咲いてから知る藤の花
大澤嘉子

てんとう虫丸い背中に丸い星
岩淵和信

母の日もないと言いつつ鍛振れる
石黒雅風

母の日やあれこれ思う母のこと
早野光村子

楠若葉風の隙間に濃くゆれて
山口清山

目薬の音なき音や花粉症
武田やえ子

地震国原発疎漏凍返る
野中よしみ

菜の花も白和へとなり供養膳
古宮モト子

沈丁の匂い先来る寺の門
倉橋末子

短歌

大地震陸地も海も狂はして人の世
試す如き天災
舟川春子

東北の津波被害に比ぶなし我が不平
不満は取るにも足らず
新谷美千代

東日本震災に募金する幼な児が手を
合わせるをテレビは映す
石田好江

災害孤子百人余りとテレビ言ふ父母の
名掲げし男の子もありぬ
山本三矢子

少量づつ瓦礫を重機に除く人ひと月
不明のわが子捜すと
池谷久子



案内

守って！電波のルール

総務省では、6月1日から10日までを「電波利用環境保護周知啓発強化期間」として、電波を正しく利用していただくための周知・啓発活動および不法無線局の取り締まりを強化しています。

私たちの生活に必要なテレビ・ラジオ放送、携帯電話、警察・消防・救急用無線などの電波利用を保護し、安全で豊かな社会を実現するために、電波はルールを守り正しく使いましょう。

問 関東総合通信局

- 不法無線局による混信・妨害
☎ 03 (6238) 1939
- テレビ・ラジオの受信妨害
☎ 03 (6238) 1945
- 地上デジタル放送の受信相談
☎ 03 (6238) 1944



幼稚園就園奨励費補助金の交付

幼稚園児の保護者の経済的負担を軽減するため、町と国の予算で補助金を交付しています。(所得制限があります。) 下記の幼稚園へは資料を送付していますので、直接各園へお問い合わせください。

なお、下記以外の幼稚園に在園し、補助金の交付を希望される方は教育課へお問い合わせください。

資料送付先／

井ノ口幼稚園、梅の木幼稚園、二宮育美幼稚園、二宮めぐみ幼稚園、二宮みどり幼稚園

問 教育課学校教育班 ☎ (81) 3906

6月定例議会

6月の定例議会は、8日(水)午前9時から開会します。

初日8日は、一般質問を予定しています。どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。

なお、日程等については町議会ホームページをご覧ください。

問 議会事務局 ☎ (81) 3905

土砂災害防止月間

6月は土砂災害防止月間です。

例年、梅雨の時期には全国各地で土砂災害が発生し、時には尊い命が奪われています。また、近年では大雨の頻度も増加しており、災害の激甚化が懸念されています。

強い雨や長雨の時などは、気象予報や町の防災無線からの情報に注意し、必要な場合は早めに避難しましょう。また、日ごろから指定されている避難場所を確認しておきましょう。

問 まち整備課整備班

☎ (81) 3901

東日本大震災で被災した方へ税金のおしらせ

大震災で被害を受けた方は、所得税の軽減・免除が受けられます。

また、源泉所得税の徴収猶予や廃車となった自動車の自動車重量税の還付などの特例も受けられます。

詳しくは、最寄りの税務署にお問い合わせいただくか、国税庁ホームページをご覧ください。

なお、住民税、固定資産税、自動車税等の特例もありますので、詳しくは、お住まいの都道府県または、市町村へお問い合わせください。

問 税務課 ☎ (81) 1113

国税庁 HP www.nta.go.jp



催し

わくわく&すくすくタイム親子で楽しいリトミック

ピアノの音に合わせて体を動かすリズム遊びリトミック。

親子一緒に楽しい時間を過ごしませんか。

時 6月17日(金) 10:30~11:30

場 井ノ口幼稚園 2階ホール

対象/町内在住の1歳半~3歳児とその保護者

講師/一色由利子先生

定員/25組(先着順) 費用/無料

問 6月3日(金)より子育て支援センター ☎ (81) 3365へ。

中村小学校PTAバザー

中村小学校PTAでは、バザーを開催します。皆さまお誘い合わせの上、ぜひお越しください。

時 6月18日(土) 15:00~15:45

場 中村小学校体育館

内容/野菜、果物、日用雑貨などの販売 駐車場/総合グラウンド 持ち物/上履き等

問 中村小学校 ☎ (81) 1116



みんなあつまれ！「おはなし会」

楽しいお話の紙芝居や絵本の読み聞かせを聞いたり、折り紙で遊びます。

時 6月25日(土) 10:20~11:00

場 井ノ口公民館図書室

活動団体/おはなしたまてばこ

問 井ノ口公民館 ☎ (81) 3311

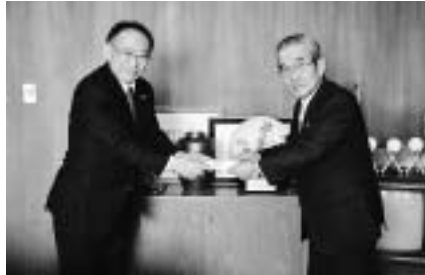
HP=ホームページアドレス ✉=メールアドレス

町民ゴルフ大会

時 7月4日(月)
場 平塚富士見カントリークラブ
 (平塚コース)
主催 / 中井町ゴルフ協会
参加資格 / 町内在住・在勤者
費用 / 参加費: 3,000円、
 プレー費: 9,600円
 (※消費税別で食事・キャディ付き)
その他 / 詳細は下記へお問い合わせください。
申 6月10日(金)【厳守】までに参加費等を添えて下記へお申し込みください。
問 中井町ゴルフ協会 事務局
 松本 ☎(81) 1234

小・中学校へ寄付

4月22日、日立コンピュータ機器株式会社様より町内の小・中学校の教育振興のために30万円の寄付をいただきました。ご厚意に沿うよう有効に活用させていただきます。ありがとうございました。



飲料水水質検査 **結果**

4月12日に実施した飲料水水質検査の結果は、すべて水質基準に適合していました。詳細は、町のホームページか下記へお問い合わせください。

問 上下水道課業務班
 ☎(81) 3903

第53回 水道週間

～蛇口から あふれる
 ぼくらの夢・未来～

6月1日～7日は水道週間です。この機会に水の尊さを見直し、水を大切にしましょう。

問 上下水道課業務班
 ☎(81) 3903

今月の新着本

井ノ口公民館図書室 ☎(81) 3311
 成人書
 ▼県庁おもてなし課 (有川 浩)
 ◇豆腐小僧双六道中おやすみ
 - 今朝妖怪盛衰録 - (京極夏彦)
 児童書
 ◇パパ・カレー (武田美穂)
 ◇マドレーヌ、ホワイトハウスにいく
 (ジョン・バームエルマンズ・マルシアアーノ)



改善センター図書室 ☎(81) 3907
 成人書
 ◇牡羊座 他11星座シリーズ
 (石井ゆかり)
 ◇放課後はミステリーとともに
 (東川篤哉)
 児童書
 ◇プロ野球にかかわる仕事
 (知りたい! なりたい! 職業ガイド)
 ▲浅田真央さらなる高みへ
 (吉田 順)
 ◇うずらのうーちゃんの話
 (かつやかおり)

案内

今月の納付

納期限は **6月30日(木)** です。
 ○町 県 民 税 第1期分
 ○国民健康保険税 第2期分
 ○上下水道使用料 4・5月分
 ○下水道事業受益者負担・分担金 第1期分
 ○保育園保育料 6月分
 ○幼稚園保育料 6月分
 ○学童保育利用料 6月分
 ※口座振替をご利用の方は、納期限が振替日です。

広告

貸切 マイクロバス 22,050円～
 中型バス 25,200円～

- ①貸切バス・送迎バス・企業学校等の契約バス輸送
- ②冠婚葬祭・スポーツ合宿・町内会・子供会・小旅行等にご利用下さい。
- ③保有車両: 40人乗(中型バス5台)/28人乗(マイクロバス12台)
 ※全車両禁煙



料金一例/中井町内運行料金(町内3時間以内の運行) マイクロバス22,050円/中型バス25,200円(税込)
 ※その他の運行料金は、出発場所・目的地・バスの利用時間で異なります。尚、有料道路・駐車場代・運転手宿泊費は、お客様実費ご負担頂きます。※見積無料です、運行日・時間・目的地・人数等がお決まりでしたら、ご遠慮なくお申し付けください。

お問い合わせ、お見積もりは

☎ **050-5525-6281**

<http://www.hitachiauto.co.jp/> / 日立オートサービス | 検索 |

一般貸切旅客運送事業、自家用自動車運行管理請負業、自動車販売・整備

◎ **株式会社日立オートサービス**
 神奈川営業所: 中井町境456番地
 (グリーンテックない 日立情報通信エンジニアリング内)

アナログ放送
 終了まで
 あと

53 日



©日本民間放送連盟 2009



健康

「軽やか体操クラブ」生活習慣病予防教室

健康普及員が皆さんの健康維持・増進のため、体操教室を開催します。ぜひ、一緒に楽しく体を動かしてみませんか。

時 6月11日(土) 13:30~15:00

場 保健福祉センター3階集会室

内容/体操、ストレッチなど

対象/町内在住の20歳以上の方

費用/無料 その他/動きやすい服装でお越しください。

申 不要

問 子育て健康課健康づくり班

☎(81) 5546



相談

心配ごと相談

時 ①6月15日(水) 9:30~11:30

②6月30日(木) 9:30~11:30

場 ①井ノ口公民館2階研修室

②保健福祉センター3階工作室

費用/無料

内容/日常生活での悩みや心配ごとに関する相談(秘密厳守)

問 中井町社会福祉協議会

☎(81) 2261

町長相談

時 6月22日(水) 9:00~11:00

場 中井町役場2階町長応接室

内容/町政に関する意見や相談

申問 6月15日(水)までに

総務課管理班 ☎(81) 1111へ。

教育相談

幼稚園、小・中学校など教育に関する相談をお受けします。教育課では平成24年度小学校入学予定児に関する相談も承ります。また、Eメールでも相談を受け付けます。

問 ①教育課学校教育班

☎(81) 3906

✉ kyouiku@town.nakai.kanagawa.jp

②たんぽぽ教室(井ノ口公民館内)

☎(80) 0080

✉ tanpopo@town.nakai.kanagawa.jp



募集

保健福祉事業計画策定委員の募集

町では「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」および「障害者計画・障害福祉計画」の策定に向け幅広く協議を行うため、策定委員会の委員を募集します。

応募資格/平成23年4月1日現在町

内在住の20歳以上の方で、両策定委員会に出席できる方

募集人数/2名

任期/委嘱日から平成24年3月まで

会議開催回数/各4回程度

(平日の昼間)

申 応募用紙(福祉介護課で配布か町ホームページからダウンロード)に必要事項を記入の上、6月17日(金)までに下記へ提出してください。

問 福祉介護課高齢介護班

☎(81) 5548

HP <http://www.town.nakai.kanagawa.jp/>



スポーツ

自治会親善ソフトバレーボール大会

町では、生涯スポーツの振興を目的に「ソフトバレーボール」の普及を行っています。柔らかいゴムボールを使用しますので、動きも遅く気軽に楽しめます。ふるってご参加ください。

時 7月3日(日) 受付8:30~

開会式9:00~ 試合開始9:30~

場 中村・井ノ口小学校体育館

参加資格/町内在住・在勤の20歳以上の男女

チーム構成/1自治会2チーム以内、

1チーム男女各2名以上、計8名以内で編成。

申 各自治会のスポーツ振興員へ直接。

【講習会】

大会に先がけ、ルール説明・サーブ練習・試合形式の練習等を行う講習会を実施します。お気軽に最寄りの会場へお越しください。

時 6月25日(土) 19:00~21:00

場 中村・井ノ口小学校体育館

指導/中井町体育指導委員

持ち物/室内用シューズ、タオル等

問 生涯学習課スポーツ班

☎(81) 3907

東日本大震災の義援金箱を設置しています!

町では、「東日本大震災」において被災された方々を支援するため、役場庁舎、保健福祉センター、井ノ口公民館、パークゴルフ場に義援金箱を設置しています。

なお、義援金について領収書の発行を希望される方は、直接下記で受け付けします。

子育て健康課健康づくり班 ☎(81) 5546

◎日本赤十字社では、郵便局でも義援金の受け付けをしています。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

http://www.jrc.or.jp/contribution/l3/vcms3_00002069.html

皆さまの温かいご支援ご協力をお願いします。





荳司卓也さん(左)

山北高校ソフトテニス部2年生の荳司卓也さん(北田)が、7月28日(木)から青森県総合運動公園で開催される全国高校総体(インターハイ)へ出場することが決まりました。

山北高校としては、2年ぶりの出場となります。

大会でのご活躍を期待しています。

町のイベントをサポート

5月9日から『竹灯籠の夕べ』に使われる竹の切り出し作業やオブジェづくりが行われ、観光サポーターや町新採用職員らが汗を流しました。

町が主催するさまざまなイベントの準備や運営に協力してくださる観光サポーターは、現在、町内外より30名ほどの登録があり、今後開催される里山農業体験(作付け指導等)や美・緑なかいフェスティバル(事前準備・当日スタッフ等)などにもご協力いただきます。

なお、観光サポーターは随時募集していますので、関心のある方は下記へお問い合わせください。

☎ 環境経済課経済班 ☎(81)1115



ひとりごと

●6月は食育月間ということで、『食』をテーマに特集を組んでみました。早速、給食風景を撮影するため、お昼時の中村小学校へおじゃますと、給食のとてもいいにおいが教室内に立ち込めており、自分が小学生だったころの給食時間を思い出しました。好きな献立の時に取り合いジャンケンをしたことや、机の中から化石のようなパンが見つかったことなど…(笑) ●でも、あそこ毎日元気に過ごしていたのは、朝ごはんをしっかり食べ、お昼は栄養バランスが取れた給食をいただき、夜は家族で食卓を囲んでいたおかげだったんだと、今更ながらに実感します。●今回の特集を通して、子どものころの当たり前のような食生活がいかに大切なものだったかを、見直すいいきっかけになりました。●これを機に、まずは、夜食のスナック菓子とビールを控えることから改善してみたいと思います。(H)



パシャ!

あなたもまちかど広報マン!

投稿を募集しています

カメラリポートでは、皆さんからの「まちかどリポート」を募集しています。町内で見つけた珍しい物や出来事など、写真で伝えるまちかど情報をお寄せください。

注意事項

紙面構成の都合上、掲載できない場合もありますので、ご了承ください。

投稿方法

住所・氏名・電話番号を明記し、写真とその写真に添付するコメントを添えて、企画課情報班宛てに郵送・電子メール・持参のいずれかの方法で提出してください。

※応募・問い合わせ先は下記の広報発行元です。

※デジタルカメラ撮影の場合は、なるべくJPEGデータでの提供をお願いします。